蔵衛門‘工事写真’御用達 Ｖｅｒ1.0/1.1

国土交通省 DTD1.0 対応

XML出力 補足説明

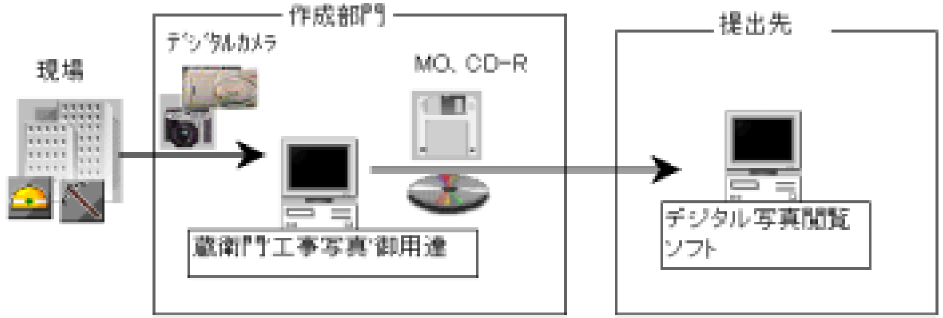
改訂 2001/10/1

NEC ソフト

― 目次 ―

1．XML出力とは（国土交通省 DTD1.00 対応の記述）

デジタル写真の提出形式となります。建設省(現国土交通省)の「デジタル写真情報管理基準（案)」に沿って平成１１年８月に標準仕様が決められました。蔵衛門'工事写真'御用達は、標準仕様に沿った提出物を作成することができます。



・旧建設省の直轄工事だけでなく、都道府県の工事での利用も始まっています。
・提出する写真には、写真それぞれが何のものなのかを説明する文字の情報を付与します。
・提出先では、基本的に閲覧用のソフトウェアを用意しています。作成者側は基準に沿った提出用データを作成し、電子媒体（MOやＣＤ－Ｒ）で提出することになります。

提出媒体は下記のようなファイル構造となります。

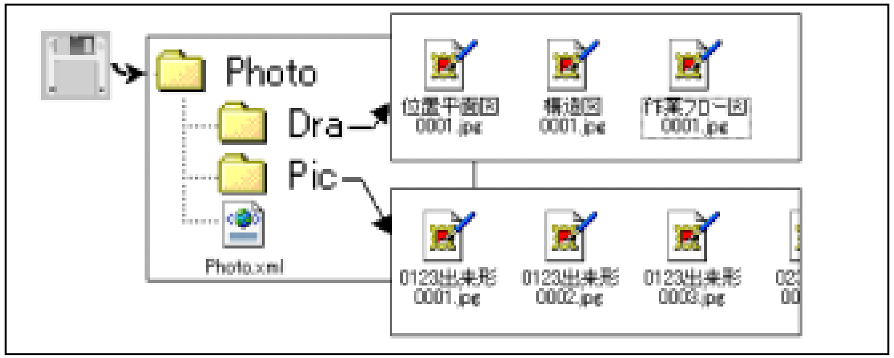


PHOTO.XML ファイルに全ての文字や写真の関係付けの情報が入り、写真および参考図はそれぞれ「PIC」、「DRA」フォルダに一括して格納されます。
※PHOTO.XML ファイルが画像と情報を関係付ける「目次」と考えていただければイメージがつかみやすいものとなります。(次ページに出力例を記載します。)

PHOTO.XML 出力例


```
  <?xml version="1.0" encoding="shift_jis" ?>
 <!DOCTYPE photodata (View Source for full doctype...)>
- <photodata>
- <基礎情報>
 <DTD バージョン>1.0</DTD バージョン>
 <写真フォルダ名>./PIC</写真フォルダ名>
 <参考図フォルダ名>./DRA</参考図フォルダ名>
 <ソフトウェア名>蔵衛門工事写真御用達</ソフトウェア名>
 <バージョン情報>Ver.1.0</バージョン情報>
 <メーカ名>ＮＥＣソフトウェア静岡</メーカ名>
 <メーカ連絡先>静岡市呉服町 1-1-20</メーカ連絡先>
 </基礎情報>
- <工事情報>
 <発注年度>2000</発注年度>
 <工事番号>200011110123</工事番号>
 <河川路線名等>国道一号</河川路線名等>
 <工事名称>国道１号○○舗装修繕工事</工事名称>
 <工事箇所>国道１号 11kp～22kp</工事箇所>
 <工期開始日>20000401</工期開始日>
 <工期終了日>20001231</工期終了日>
 <発注者-大分類>建設省</発注者-大分類>
 <発注者-中分類>関東地方建設局</発注者-中分類>
 <発注者-小分類>東京国道工事事務所</発注者-小分類>
 <発注者コード>00000000</発注者コード>
 <請負者名>○○建設・△△組共同企業体（代表：○○建設株式会社）</請負者名>
 <請負者コード>00012345000</請負者コード>
 </工事情報>
- <写真情報>
 <シリアル番号>1</シリアル番号>
 <写真ファイル名>Abc004.jpg</写真ファイル名>
 <メディア番号>1</メディア番号>
 <写真整理フラグ>0</写真整理フラグ>
 <写真-大分類>工事</写真-大分類>
 <写真区分>施工状況写真</写真区分>
 <工種>舗装維持工</工種>
 <種別>アスファルト舗装補修工</種別>
 <細別>わだち掘れ補修</細別>
 <写真タイトル>出来形管理写真</写真タイトル>
 <参考図 1>位置平面図 0001.jpg</参考図 1>
 <参考図 2>構造図 0001.jpg</参考図 2>
 <参考図 3>作業フロー図 0001.jpg</参考図 3>
 <写真 MIME>image/jpeg</写真 MIME>
 <参考図 1-MIME>image/jpeg</参考図 1-MIME>
 <参考図 2-MIME>image/jpeg</参考図 2-MIME>
 <参考図 3-MIME>image/jpeg</参考図 3-MIME>
 </写真情報>
```


基礎情報

プログラムより自動的に作成されます。

工事情報

PHOTO.XML ファイル中に一つ作成されます。工事名称や発注者など共通の情報が記述されます。

写真情報

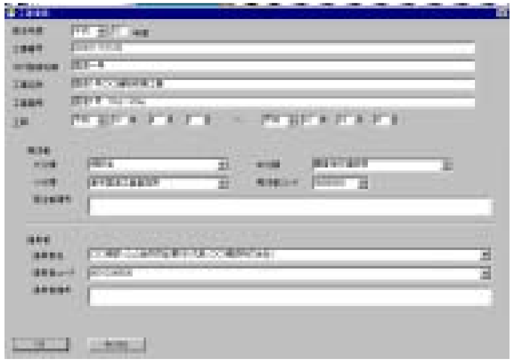
写真の枚数分作成されます。

写真の分類、タイトル、ファイル名などの必須項目と、撮影年月日や、参考図などの任意の項目が記述されます。

2. ＸＭＬ出力の手順

2-1 事前準備

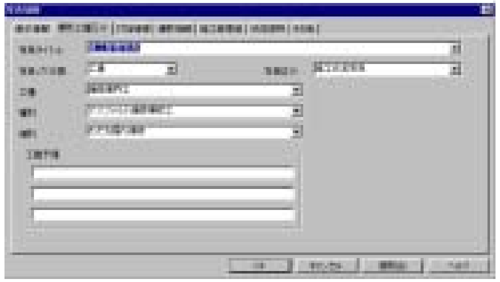
ＸＭＬ出力には下記の情報登録が必要です。



◇本棚への工事情報の登録

・本棚のメニュー【工事の選択と管理】を選び、「工事の一覧」ダイアログボックスを表示し、【工事情報変更】ボタンで、登録した内容を確認します。この欄に入力した情報が PHOTO.XML ファイルの工事情報に記述されます。（取扱説明書 28 ページ参照）

◇各写真への工事写真情報の登録

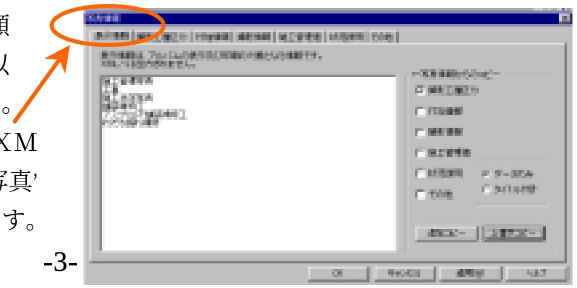


・写真それぞれに文字情報を入力します。（取扱説明書 50 ページ参照）PHOTO.XML ファイルの「写真情報」に記述される部分となります。

・「写真タイトル」、「写真：大分類」、「写真区分」、「工種」は必須項目です。

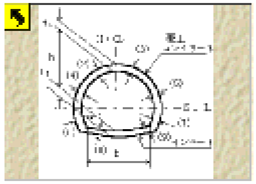
・【付加情報】【撮影情報】【施工管理値】、【状況説明】、【その他】の項目は、入力した項目がある場合、ＸＭＬ出力する任意の出力項目です。

・任意の出力項目は、提出先の要望を確認の上、必要な情報を入力願います。撮影年月日は、B016 版以降削除できるように改善済みです。



・【表示情報】で表示される内容はＸＭＬ出力されません。蔵衛門'工事写真'御用達内でのみ管理される情報です。

◇参考図の登録



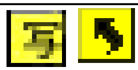
・参考図が必要な写真は、参考図を作成または画像を元に登録します。(取扱説明書 54 ページ参照)
※１枚の写真に対して３枚まで付けることができます。
参考図の元となる写真を削除した場合や、「参考図の登録の取消し」を実行したものは、XML出力しません。

◇出力対象の画像の確認（写真および参考図）

・XML出力の対象は、本棚単位の全画像中、「工事写真情報」が付いた写真と、「参考図として登録されている」参考図です。



◆確認方法：
整理机の【整理机の表示】から、【全画像表示】を選び、整理机の再表示をして下さい。画像の左上に「写」マークの付いた写真と、矢印のついた参考図を本棚単位で全て出力するように本システムでは設定しています。

○ ：XML出力対象の画像		これらのマークがある画像。
◌ ：XML出力対象外	上記のマークの無い画像	

※アルバムから削除して、整理机で消していない画像の扱いは注意が必要です。
（不要な写真は、アルバムからの削除だけでなく整理机でも削除するか、
写真整理情報を削除して出力対象外として下さい。）

※整理机の表示は必ずしもリアルタイムに更新されません。XML出力前に整理机の再表示をすることをお勧めします。

2-2 出力媒体準備

XML 出力の前に書き込む媒体の準備を行います。

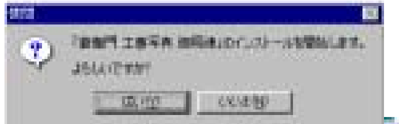


(1)ハードディスク内へ一旦作成する場合
空の（ファイルが無い）新規フォルダを作成します。
(2)MO へ直接作成する場合。
フォーマット済みの、空のディスクを用意します。（ファイルがあると、出力できません。）

※CD-R に書き出す場合は、(1)の手順で一旦ハードディスクに出力します。

2-3 確認用ファイルのコピー

・XML ファイルを目視で確認するために必要なファイルを、下記の手段でインストール用の CD-ROM からコピーします。ファイル名とフォルダ名を間違わないようにします。
【手順】
①蔵衛門'工事写真'御用達のＣＤ－ＲＯＭを用意し、パソコンにセットします。
自動的にインストールを開始されるので、「いいえ」でセットアップを終了します。



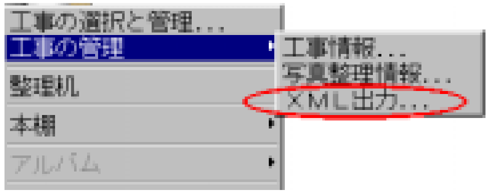
②ＣＤ－ＲＯＭの PHOTODTD フォルダの中の PHOTO.DTD ファイルをコピーして、ハードディスクの任意のフォルダ（デスクトップがお勧め）上にコピーします。
（PHOTO.DTD フォルダは不用です。）



③CD-ROM をドライブより抜いて保存します。

2-4 XML出力の実行

・本棚のメニューの【工事の管理】から、
【XML出力】を選択します。



・XML出力のダイアログボックスが表示されます。



＞仮想ドライブ ＯＦＦ　：直接ＭＯに出力するときに選択します。
　仮想ドライブ ＯＮ　：ハードディスクに出力し、後で提出媒体へ
　　　　　　　　　　　コピーする場合に選択します。CD-R の場合はこちら。
＞容量　　　　　　　　：写真が多く、提出媒体が１枚に収まりきらない場
　　　　　　　　　　　合には、分割するサイズを MB 単位で入力します。
　　　　　　　　　　　（例：230MB のＭＯの場合「200」程度を入力します）

※仮想ドライブＯＦＦの場合は、あらかじめフォーマットされた空の媒体が必要です。
※仮想ドライブＯＮの場合は、空のフォルダが必要です。
【出力開始】を押すと、次のメッセージが順に表示されてＸＭＬ出力を実行します。



2-5 仮想ドライブからのコピー　(2-4 の仮想ドライブＯＮの場合)

仮想ドライブに作成された
Photo フォルダ以下をＭＯや
CD-R へコピーします。
（Disk1，２はコピーしない
　で下さい。）

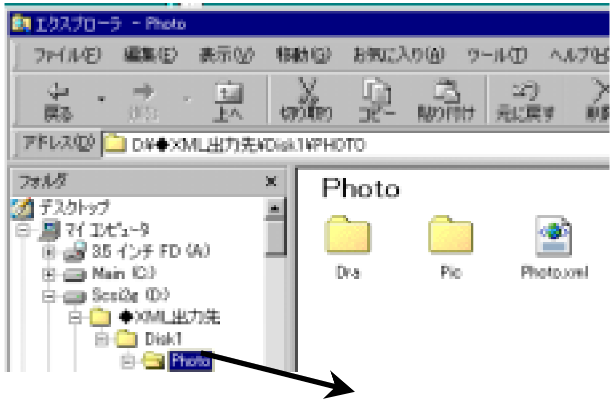
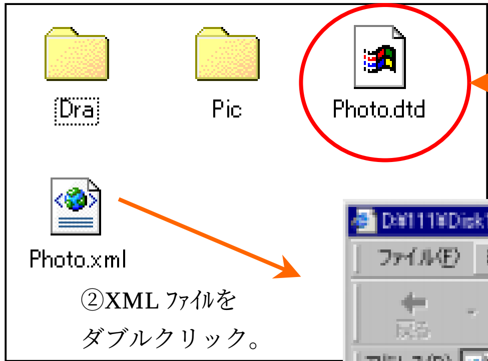


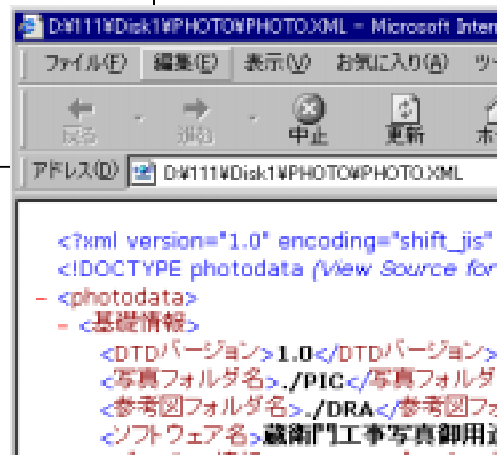
PHOTO フォルダ以下をＭＯ、CD-R へ
コピーします。

2-6 出力データの確認

・PHOTO.XML ファイルの確認
　XML ファイルはそのままではブラウザ(Internet Explorer、Netscape など)で表示できません。（これは、ＸＭＬの仕様です。）「PHOTO.DTD」ファイルが「PHOTO.XML」と同じフォルダにある場合のみ、ブラウザで表示可能となります。



①デスクトップ等に
保存してあったファイル
をコピー



ブラウザが開きます。

・PHOTO.XML ファイルを確認
　します。

３．本システムでのＸＭＬ出力仕様

ＸＭＬ出力の仕様

No		
1	出力する単位	工事（＝本棚）ごととなります。 アルバム別の出力はできません。
2	出力タイミング	ＸＭＬ出力を実行すると、実行の都度、毎回新たに提出用データを作成します。 写真を登録し工事写真情報を付けた後、出力が可能となります。
3	ＸＭＬ出力となる対象の画像	「蔵衛門‘工事写真’御用達」で管理する、 ①「工事写真情報」が付いた写真。 ②「参考図として登録」されている参考図。　です。

作成されるＰＨＯＴＯ．ＸＭＬファイル

	分類	説明	蔵衛門からの出力
1	基礎情報	ＸＭＬを作成するソフトウェアのメーカー情報など。	自動作成します。
2	工事情報	提出する工事の情報。発注年度や工事名称、発注者など。	「工事情報」画面で登録した内容を編集し出力します。
3	写真情報	写真１枚ごとの工事写真情報を10～30行程度の文字情報で出力します。	アルバムや、整理机の「工事写真情報」画面で入力した情報を編集し、出力します。 必須項目は入力が無い場合　「＊＊＊」で項目を埋めます。 任意項目は、入力があったとき出力します。 必須項目：　1.写真タイトル 2.写真-大分類 3.写真区分 4.工種

４．注意・制限事項

（１）工事写真情報の入力

「デジタル写真情報管理基準（案)」では、利用できる文字種が制限されています。普段よく利用する文字も利用できません。工事写真情報の入力時、下記の文字を使用しないように注意してください。現行バージョンでは文字のチェックをしておりません。

◆特に注意する利用不可能な文字種

・半角カタカナ　　例：ｱｲｳｴｵ ｶｷｸｹｺ　（全角のカタカナは利用可能）
半角の ･ ､ ｡ ｰ ﾞ ﾟ ｢｣ も使えません。

・機種に依存する文字　　例：①,②～⑳　Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ～Ⅹ、㍉、㌢、㎝、㎡
№、㏍、㈱、㈲、㈹、㍼、√、∑　　など

・罫線文字、特殊文字、JIS X 0208-1983 に無い漢字
例：┤┘└　や、草彅の「彅」などの難しい漢字

（２）提出する画像

本ソフトでは、取り込む画像を指定の jpeg 画像形式に自動的に変換しますが、写真の画素／解像度についてはチェックをしておりません。
建設省の基準に沿った画質(80 万画素以上）かの判断および、明るさの補正などは個別の写真の編集時に行ってください。

（３）システムの機能上の制限事項

・工事写真情報の削除は、製品バージョン（起動時表示メニューの右下）B014 以降で可能となります。バージョンアップが必要な方はサポート窓口へお問い合わせ下さい。

・撮影年月日は製品バージョン B016 より削除が可能となりました。
・工事写真情報の撮影年月日は、ExifJPEG 形式のファイルを取り込んだ場合、自動的に取り込まれます。デジタルカメラから取り込むファイルの形式が、ExifJPEG 形式かどうかは、お客様のご利用のデジタルカメラの取扱説明書にて確認下さい。

Q＆A

No	質問事項	回答
01	蔵衛門で作成された PHOTO.XML ファイルをダブルクリックで開くと、下記のメッセージで表示でエラーとなってしまう。提出するのに問題がありますか？ XML ページを表示できません スタイルシートを利用した XML 入力は表示できません。エラーを訂正してください。(中略) リソース'PHOTO.DTD'の実行エラーです。 (後略)	ＸＭＬファイルをブラウザで表示するには、「PHOTO.DTD」ファイルが必要です。確認のため表示したい場合は、本紙記載の手順で確認できます。 なお提出時には、提出先の閲覧ソフトに「PHOTO.DTD」が必ず存在しますので、提出媒体に「PHOTO.DTD」ファイルを添付する必要はありません。
02	消したはずの写真がＸＭＬ出力されてしまった。なぜですか？	アルバムで削除して、整理机で削除していない写真がありませんか？出力対象となる写真を確認願います。 （本資料の 2-1 事前準備を参照。）
03	ＸＭＬ出力後に写真を１枚だけ削除したいのですが、もう一度新たに作成する必要がありますか？	ＸＭＬファイルの構造上、再度ＸＭＬ出力を実行して下さい。
04	工事の一部のみＸＭＬ出力したいのですが、工事一括で作成されてしまいます。何か方法がありますか？	本ソフトは、工事単位でのみ出力する仕様です。工事の一部のＸＭＬ出力には、別の本棚（工事）を作成し、アルバムファイルを利用して出力したい部分を抽出しＸＭＬ出力を実行して下さい。
05	撮影日時の修正をしたいのですが？	撮影年月日の年号欄に削除の機能を用意しました。(B016 版以降)
06	ＸＭＬ出力をする前にアルバムや整理机の画像の順番を整理しなければいけませんか？	PHOTO.XML ファイルには自動的に番号が振られるため、特に順番は意識する必要はございません。
07	参考図には説明を入れるところがありますか？	建設省仕様では、参考図には説明欄がありません。測点などは写真の「撮影箇所」などに記述して下さい。
08	作成した提出物が、提出先のシステムでは読めないとの連絡がありました。どのようにしたら良いですか？	まず提出先でご利用の閲覧用ソフトウェアをご確認願います。次に作成したＸＭＬファイルを用意の上、サポート窓口までご連絡下さい。